

平成30年第4回市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「平成30年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

始めに、このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまのご支援と負託を賜り、引き続き菰崎市長として市政執行の大任を担わせていただくことになりました。これもひとえに議員各位をはじめ、各方面からの深いご理解とご協力があったからこそと、あらためて、心から感謝申し上げます。

私は、平成26年11月の市長就任以来、一貫して「市民目線の活力あるまちづくり」を基本姿勢に掲げ、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

顧みますと、1期目の4年間において、就任時に掲げた3つの挑戦を実現するため、防災・減災体制の強化や上ノ山・穂坂地区工業団地第2期造成事業、穂坂産ぶどうのブランド化推進のためのワイナリー誘致、甘利小学校大規模改修やたんぼぼ保育園・藤井公民館の建設など、限られた財源の中で、常にスピード感を持って施策の推進に努めてまいりました。

また、「人口減少」という大きな課題に対しては、県内の自治体に先駆けて移住相談窓口を常設するとともに、中学・高校生のふるさと愛を育むための拠点となるミアキスを開設するなど、市民と行政の協働による「チーム菰崎」で、特色ある地方創生事業を展開してまいりました。

地方自治体を取り巻く環境は一層厳しさを増す中、2期目のスタートにあたり、改めて責任の重さを認識し、初心を忘れることなく、謙虚な気持ちで市政運営に全力で邁進してまいります。

さて、内閣府が発表した今年7月から9月期の国内総生産の速報値は、物価変動の影響を除いた実質で、前年比0.3%減、年率換算で1.2%減と下方修正されました。

また、日銀甲府支店による県内の景気判断は、「緩やかに拡大し、労働需給、雇用者所得ともに改善している」としていますが、世界的な貿易摩

擦による輸出停滞など、様々なリスク要因があることから、先行きには慎重に注視していく必要があると捉えております。

こうした状況下にあって、本市の着実なまちづくりを進めるため、今議会に提出いたしました第7次総合計画の基本構想及び2期目の市政運営の基本的な考え方について申し上げます。

第1は、「夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり」についてであります。

子育てサークルの支援体制の強化や子ども医療費の助成拡大、ICT機器の整備や英語検定試験への受験支援、中学・高校生の健全育成とふるさと愛の醸成など、子どもを安心して生み育てられる環境の整備と教育の充実に努めてまいります。

第2は、「思いやりあふれる福祉のまちづくり」についてであります。

介護予防活動の更なる充実や子どもの貧困対策の推進、ボランティアコーディネーターの育成、障がい者の自立支援の充実、認知症などの相談窓口の強化を図り、市民が主体となって支え合い、安心して暮らせるまちを目指します。

第3は、「元気で健やかに暮らせるまちづくり」についてであります。

妊婦の歯科健診の新設や健康ポイント事業の拡大、市立病院の医師確保や医療サービスの充実、地域体育館及び市営総合運動場の整備など、いつまでも健康で、明るく元気に暮らせる環境整備を進めてまいります。

第4は「安全・安心に暮らせる強いまちづくり」についてであります。

引き続き、地域減災リーダーの育成や災害対策アプリの導入、洪水ハザードマップの見直し、高齢者の免許返納に対する支援、市民バスの利便性向上、市道・橋梁の整備など、安心安全で、災害に強いまちを目指します。

第5は、「美しいふるさとを誇れるまちづくり」についてであります。

南アルプスユネスコエコパークの保全や利活用、ごみ減量アクションプランのさらなる普及啓発、基幹管路や配水池等の水道施設の耐震化など、本市の豊かな自然の保全・活用を推進し、心地よい定住環境の整備に努めてまいります。

第6は、「魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり」についてであります。

農商工連携によるワイン用ぶどうの産地ブランド化や新規就農者への支援、空き店舗対策や起業家支援の強化、企業誘致の促進、地域資源を活用した新たな観光施策の推進など、産業の育成と豊かさを実感できるまちを目指します。

第7は、「市民が主役の持続可能なまちづくり」についてであります。

空き家対策や持ち家住宅の支援、移住相談体制の充実など、定住人口の維持に取り組むとともに、市民が主役となり、活躍できる協働のまちづくりを進めてまいります。

以上、7つの基本方向について申し述べましたが、これまでの1期4年間の積み重ねを礎に、「すべての人が輝き 幸せを創造するふるさとにらさき」の実現に向け、市政運営の先頭に立ち、粉骨砕身努力する決意でありますので、議員各位、並びに市民の皆さまのなお一層のご理解、ご協力を心からお願い申し上げる次第であります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

去る10月7日に開催した「武田の里フェスタ・葦崎」は、趣向を凝らした様々な催しに多くの皆さまのご参加をいただき、盛大に開催することができました。

新たに企画した「Piano street～音楽に会う散歩道～」では、幼児から高齢者、家族連れの方々などにピアノに触れていただき、また、同時開催の「ワインフェス イン にらさき」では、葦崎産ワインの試飲や、ワインに合う料理のサービスなどを市内外の皆さまにお楽しみいただいたところであります。

関係各位に、心から感謝申し上げますとともに、引き続き、魅力あるイベントの企画・運営に努めてまいります。

なお、今月19日には、市役所ロビーにあるピアノを活用した「クリスマスロビーコンサート」を開催することとしており、現在、準備を進めているところであります。

次に上ノ山・穂坂地区工業団地についてであります。

第2期造成事業につきましては、無事工事を終え、先日、関係各位ご列席のもと、竣工式を挙行いたしました。

今後も企業誘致に鋭意取り組み、雇用の拡大、地域経済の活性化など、様々な分野で大きな波及効果が図られるよう努めてまいります。

次に、災害復旧事業についてであります。

過日の台風24号の影響により、穴山亀石堰及び楯無堰などの農業用施設に被害が発生いたしました。両堰につきましては、災害復旧事業として国へ申請するとともに、来年の作付けに支障がないよう工事を進めてまいります。

次に、養護老人ホーム静心寮につきましては、これまで、大変厳しい財政状況の中、運営を続けてまいりましたが、現在の入寮者は6名となり、施設の老朽化に加えて、今後も大幅な入寮者の増加は見込めないため、継続的な運営は困難であるとの判断に至りました。

このため、本定例会に閉鎖に係る関係条例の改正案を提出したところであります。

次に、市営総合運動場の整備についてであります。

建設から約40年が経過し、かねてより施設の耐震化・老朽化が懸念されていることから、市民の代表をはじめとする新たな組織を立ち上げ、施設のあり方や整備手法等について調査・検討を進めてまいります。

次に、行政改革大綱の策定についてであります。

現在の第4次行政改革大綱につきましては、本年度が最終年次となることから、これまでの達成状況の検証を行うとともに、市民アンケートの実施や庁内会議での検討を重ねてまいりました。

今後、新たな視点による改革項目を加えた第5次行政改革大綱を策定してまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の9月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正ほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これらを含め、今議会でご審議をいただきます案件は、

予算案件 3件、

条例案件 5件、

その他案件 1件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、個人、法人市民税の増額補正、民間給与との格差に基づく給与改定による職員給与費の増額補正、及び緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、職員給与費の増額により、9万8千円を増額補正しております。

次に、総務費であります。

新たな施設の整備や老朽化した公共施設の改修に備えるため、公共施設整備基金積立金に5億円、小中学校施設整備基金積立金に3億円を追加計上するなど、総額8億2,940万1千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

居宅介護や就労継続支援等の扶助費の増により、障害者自立支援給付費等負担事業費を2,592万4千円、民間保育園への入園児数の増加や保育委託料の公定価格の改定により、保育園運営費を2,398万4千円増額するなど、総額1億2,376万1千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

峡北広域行政事務組合のごみ処理特別会計負担金の確定により306万9千円を減額する一方、プラグインハイブリッド車等の交付申請の増加により、クリーンエネルギー導入促進事業費を80万円、医療機器の購入により、病院事業会計補助金を424万6千円増額するなど、総額214万1千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

市立病院の駐車場確保のため、駐車場に設置しております生ごみ処理機の撤去経費として、農業総務一般事務費を52万3千円増額するなど、総

額280万3千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

移動販売車による買い物弱者支援事業の事業費確定により、まちなか活性化対策事業費を108万円減額する一方、職員給与費を461万8千円増額するなど、総額340万9千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

補助金交付申請の増加により、持家住宅定住促進助成事業費を1,880万円、主要地方道茅野・北杜・韮崎線の新府バイパス整備に伴う市道用地等の購入経費として、地籍管理費を150万8千円、市単独道路整備事業費を188万1千円増額するなど、総額2,348万5千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

防災行政無線デジタル無線局の電波利用料として、災害対策事業費を10万1千円増額するなど、総額44万5千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

県営中山間地域総合整備事業に係る、埋蔵文化財発掘調査対象面積の減少により、公共事業埋蔵文化財確認等調査事業費を1,057万4千円減額する一方、市営総合運動場整備にかかる調査費や、体育館内のトレーニング機器の購入費として、総合運動場管理運営費を1,028万8千円増額し、猛暑による小中学校の光熱水費の増額などとあわせ、総額2,616万4千円を増額補正しております。

次に、災害復旧費であります。

台風24号により被害を受けました穴山亀石堰、楯無堰の農業用施設の復旧経費として、6,023万5千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、10億7,194万2千円を増額補正となり、現計予算額は、149億9,867万円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案についてであります。

介護保険特別会計につきましては、通所介護等の利用者の増による保険給付費及び地域支援事業費の増加見込により、総額1億5,168万円を増額補正しております。

病院事業会計につきましては、入院患者数及び診療単価の増加見込によ

り、病院事業収益を1億3,252万9千円増額補正し、病院事業費用も診療材料費や薬品費の増額により、8,764万4千円増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

結びにあたり、議員各位におかれましては、寒冷のみぎり、ますますご健勝にてご活躍されますことを衷心よりご祈念申し上げまして、私の所信といたします。

平成30年12月6日

蕪崎市長 内藤 久夫